



114
A 1963



加奈田地方収税法

不可キ者ニテ則チ銀行資本金或ハ利金ニ稅ヲ置カ
 ス又ハ他ノ勤産ニモ稅ヲ置カス惟ニ都費ニ給ス可
 キ必要ノ歳入出所ノ根原ハ次ノ如シ

第一條

凡テ不動産ハ年々ノ相場ノ実、價ニ於テ一磅^{ポンド}ニ付
 キ一^〇シ^〇ル^〇リ^〇ク^〇六^〇ベ^〇シ^〇ス^〇リ^〇此^〇ノ^〇稅^〇ハ^〇最^〇初^〇ニ^〇持^〇主^〇
 ニ加ス可シ然シナカラ其ノ上納ヲ誤レハ借主ニ加
 ス可シ其ノ時借主ハ^ハ辨^ハフ可キ借賃ヨリ此ノ稅ヲ引
 去ル可キ權ナリ

第二條

一封^ト度^トニ^ハ付^ト臺^トシ^ルル^ク六^〇ベ^〇シ^〇ス^〇ハ^〇百^〇弗^〇ニ^〇付^〇七^〇弗^〇
 羊^ノ高^合ナリ

大正十一年四月
大隈通郵寄贈



其、不動産年々相場ノ実價四〇兩毎ニ前條ノ税ニ加
ヘテ年々セントノ増税ヲ持主ヨリ拂フベシ

第三條

商賈、所有スル品産等ノ各年相場ノ定價四百兩毎
ニ三十兩ノ割合ニ拂フベシ

第四條

年々ノ定税ノ外ニ旅館或ハ遊樂所ノ税ハ其ノ用
ユル地家税ノ一年ノ定價百六十兩ニ過キテハ時ハ
二十兩ノ率ナリ然レニ二百兩以上ニ千四百兩以下ノ
時ニハ百七十兩マテ種々ニシテ二千四百兩以上ハ
四百兩毎ニ十兩五兩五兩ノ割合ナリ

第五條

税買人ノ税ハ百六十兩ヨリ二百兩マテ種々ト變ス
ルナリ

第六條

瓦斯會社或ハ瓦斯製造所ノ税各八百兩ヲ拂フベシ

第七條

借馬厰預人ノ税ハ八十兩加フルニ借車兩輪ノ者ハ
三十兩、四輪ノ者ハ四十兩、公使ニ用ユル爲ニ車ヲ所
持スルハ兩輪ノ者ハ六兩、四輪ノ者ハ八兩ノ割合ヲ
以テ税ヲ拂フベシ

第八條

雙屋ノ税ハ年々二百兩ヲ拂フベシ

第九條

仕度ニ用ユル馬ハ一馬ニ付キニ非五トセシト市中
飼馬ハ六非ヲ持テヘシ

第十條

前條ノ外貨車持主ノ税ハ三非以上四非以下乗脚車
ハ八非ヨリ十ニ非マテ

第十一條

自分用ノ車ハ六非ヨリ十ニ非マテヲ持テヘシ

第十二條

犬一疋一非五トセシト以テ持主或ハ預リ人ヨリ持テ可シ

第十三條

持賣商人呼賣人ノ税ハ八非ヨリ二十非マテ

持賣商人^高第十四條 税ハ八非ヨリ二十非マテ

戲場ノ持主ヨリ年ノ家賃税ニ加ヘテ百五十非ヲ持
ヘシ

第十五條

暫時ノ見セ物或ハ戲嬉等ハ百非ヲ持ヘシ加ルニ公
ニ開ラリ時ハ晝夜毎ニ十ニ非ツ、ヲ持テヘシ

第十六條

渡シ船ノ税ニ百非ヲ持テヘシ

第十七條

銀行毎ニ四百非、高買ノ世話人或ハ兩替屋ハ百如十
非、仲取商或ハ金貸ハ八十非、請合會社ハ二百非ヲ持テヘシ

第十八條

信會社ハ四百非ヲ持テヘシ

第十九條

蒸餾酒釀造ノ稅ハ其ノ地家一年ノ定稅ノ實價四百

兩毎ニハ十兩ノ割合麥酒等ヲ釀ス人ノ稅ハ六十兩ノ割合

第二十條

玉突遊ノ基戲板或ハ其ノ地博奕ノ板等ノ公集ノ場

所或ハ其家ニ有ル者ノ稅ハ毎兩百兩玉投遊ノ場ノ

之亦々全シ

第二十一條

尾ヲ燒ク場所毎ニ四十兩ヲ拂フヘシ

第二十二條

馬商ノ稅ハ十兩

市中ニ備ヘタル水ヲ多ク用エシハ割ヲ加ヘテ格

別ニ稅ヲ加ス

ノイベツ州ノ租稅法

一千八百七十年ノイベツ州ノ指令ニ備ヘラレタル

租稅法ニテ下條ノ如ク有稅品ヲ定ム

第一條

凡テノ土地或ハ不動産ニ賦稅ス但シ政府官署施設ニ屬スル者ヲ除ク

第二條

凡テ一般政府ノ官費ノ給料都府ヲ論セズ賦稅ス

第三條

職業人商人兩替人先生等給料及ビ年々ノ利得高ヨ

リ賦稅ス

第四條

其他ノ職業者ノ人ニシテ一年四百弗以上ノ給料ヲ得ル者

有税家産ヲ有スル人ニテ割拵スル者ハ一ツノ州ニ任處ヲ保テ地ノ州ニ其ノ産ヲ生ス可キ職業場所ヲ保テハ其ノ家産ノ税ハ其ノ職業場所ノ有ル所ノ州ニテ拂フ可シ